

灘区医療介護サポートセンター便り



2023年(令和5年)1月 第6号

発行 灘区医療介護サポートセンター

住所 灘区水道筋1丁目24 灘区医師会館内 電話 078-801-1120 FAX 078-801-1121

新しい年を迎えました。皆様には日頃より、多くの御協力を頂き誠にありがとうございます。

「医療介護サポートセンター」は地域の医療・介護関係者の連携をサポートすることで、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

「サポートセンター便り」では、医療職・介護職の皆さまの連携に役立つ情報や研修会等の活動報告を発信してまいります。

研修会報告

2022年度 医療・介護関係者の研修会

第1回 「在宅で最期まで過ごしたい」という思いを支えるために～知っておきたい制度～

【講師】 あうる法律事務所 弁護士 片岡昌樹 氏

令和4年5月27日(金)開催 参加者:対面10名、オンライン28名一計38名

*身寄りがない、親族が遠方で連絡がつかない、支援が難しい独居高齢者など、様々な問題を抱えている高齢者の事例をもとに、関わる専門職が知っておきたい成年後見制度や死後事務などの制度を知る機会になりました。

また、参加者から質問も多くいただき、制度のポイントやタイミングについても詳しく解説していただきました。

(参加者アンケートから)

- ・法定後見と任意後見の違いが理解できました。任意後見の利用が出来ない人に対するの制度がある事を知りました。
- ・判断能力があるとき、なくなってきたとき、どういった制度が利用できるか、事例を通して説明して下さったため、大変わかりやすかった。費用や制度の限界も知ることができた。制度、契約等それぞれのメリットデメリットが分かった。



2022年度 医療・介護関係者の研修会

「在宅療養をされている方への医療・介護の連携を学ぶ」～各科の在宅診療を知る～

*全5回シリーズとして、各科の訪問診療や往診、在宅診療のできる治療、処置、検査などを知り、往診依頼時の連携方法や在宅診療での医療・介護・福祉の連携を学ぶ機会としました。

Part1:内科・整形外科 令和4年6月23日(木)開催

【講師】 岡田クリニック 院長 岡田司郎 先生 ・ 中林整形外科クリニック 院長 中林幹治 先生

参加者:対面9名、オンライン47名一計56名



Part2:泌尿器科・婦人科 令和4年7月21日(木)開催

【講師】 いまにし泌尿器科 院長 今西治 先生 ・ ようこレディースクリニック 院長 稲葉陽子 先生

参加者:対面9名、オンライン29名一計38名

Part3:精神科・心療内科 令和4年10月21日(金)開催

【講師】 岩尾クリニック 院長 岩尾俊一郎 先生 ・ 訪問看護ステーションふらっと 管理者 松下啓太 氏

参加者:対面1名、オンライン32名一計33名

Part1では、患者を中心とした医療と介護の支援チームの情報共有の重要性を確認することができました。

Part2では、先生同士での質問や情報交換もあり、参加者にとってはより深く学ぶことができました。「デリケートな部位のため、利用者から相談を受ける機会がない」というご意見もありましたが、知識を持ったうえで観察を行うと、相談がなくても異常に気づくことがあります。また「医学知識の差」で情報提供が行いにくいと感じておられる方もあり、今後どのように研修会企画に取り入れられるのか考える機会ともなりました。

Part3では、精神科疾患の方に当事者中心の医療、対応をすることの大切さをあらためて知ることができました。

精神科疾患の方は訪問看護が医療保険となり、年齢の満たない方にはケアマネジャーがついていない場合もあり、コーディネートの重要性を学ぶことができました。制度的な課題も多いため、日頃から話し合っていくことが大切だと感じました。

2022年度 医療・介護関係者の研修会

第4回「病院から在宅、進むリハビリ連携!Part2」～『家で暮らしたい』を支える取り組み～

【講師】 金沢病院 リハビリテーション室 室長 宮本佳則 氏

愛のき訪問看護ステーション コメディカル主任 藤井良太郎 氏

令和4年8月24日(水)開催 参加者:対面8名、オンライン23名一計31名

*リハビリ連携が効率的に進むことで、以前の生活に近い環境を取り戻すことにつながります。昨年度は、高度急性期病院におけるリハビリ連携について研修会を行いました。今年度は地域の病院と訪問で行われるリハビリについて理解を深める機会としました。

(参加者アンケートから)

- ・疾患別リハビリの点数に伴う早期リハビリ離床退院の必要性が分かった。
- ・病院で行われるリハビリの目的や役割などをわかりやすく説明頂き、理解しやすかった。
- ・医療と介護の訪問看護による在宅リハビリの違いなどがよくわかった。特別指示書の条件や期間などわかりやすかった。医療の知識がケアマネには薄いので、関わってくれることで連携でき、心強いです。



灘区医療介護サポートセンター・東灘区医療介護サポートセンター共催

令和4年度 基幹病院と灘区・東灘区の地域医療連携室と在宅との交流会

～退院後の生活を一緒にイメージしよう!～

令和4年10月17日(月)開催 参加者:67名

*灘区と東灘区内の地域医療連携室と居宅介護支援事業所や訪問看護ステーション、あんしんすこやかセンター、さらには灘区・東灘区民が利用される近隣の基幹病院にもご参加いただき範囲を拡大して開催しました。

患者(生活者)を中心とした望ましい病院・在宅との連携、情報共有のあり方などを、事例を用いて話し合いました。

〈事例検討・グループワークから〉

- ・在宅と病院とも情報共有が十分とは思っておらず、互いに歩みよれることはないかと思っている。
- ・病院の看護師は在宅をイメージすることが難しい。タブレットで患者の情報を共有し、病院、居宅、訪問看護、往診医が介入できるような地域を挙げての仕組みがあればよい。
- ・顔の見える関係ができると話しやすく、地域連携でお互い困っていること、大変なことを実感できる。あんしんすこやかセンターや居宅でも困っているということがわかる。

****病院と在宅の連携について本音で話せ、久しぶりの対面での交流会は有意義で楽しかった。今後も続けてほしい。というご意見を多数いただきました。****



第18回さくら塾 ～多職種連携研修会～

日時:令和4年12月17日(土)14:00~16:10

ZOOM ミーティングを利用したオンライン研修 参加人数:58名

1)講演 『急変時対応で意識しておくこと』

講師:村山医院 院長 村山知行 先生

2)急変時対応についてのアンケート 集計結果説明

3)グループワーク

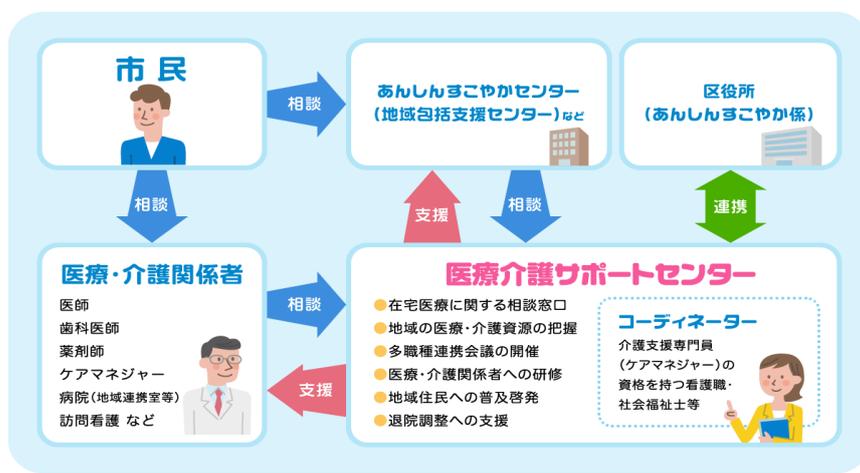
架空事例(認知症、がん末期、肺炎を繰り返している高齢者)をもとに、「足りない情報」「どのような急変が想定されるか」「急変時対応に必要な準備」について話し合いました。本人だけの急変時ではなく、家族が倒れた時、虐待も想定し、どうするかなども話し合われました。改めて、本人と家族の意向の確認、すり合わせ、多職種が情報共有し、支えていく大切さを学びました。医療職・介護職・施設の方の参加もあり、様々な職種で話し合い、急変時対応で意識しておくことや連携について考える機会となりました。

***** 参加者アンケートから *****

- ・「急変時」がどのような状況なのかがよく分かった。
- ・講師の話が実際の急変時の例を挙げられてとても参考になった。医療保険や介護保険の根本的な問題点をわかりやすく説明していただいた。
- ・簡単には急変時対応について答えは出ないが、普段から話をするのが大切だと思った。

在宅医療・介護に携わる多職種の相互理解や情報共有ができ、皆さまが連携して取り組める体制づくりを進めていくために、灘区では毎年2回定期的に「さくら塾」を開催しています。





灘区医療介護サポートセンターについて

「医療介護サポートセンター」は地域の医療・介護関係者の連携をサポートすることで、安心して暮らせる地域づくりを目指します。

= 具体的な機能と役割 =

●在宅医療に関する相談窓口

医療、介護の関係者からの在宅医療に関する相談に対して、コーディネーターが必要な情報提供や支援・調整を行います。

●地域の在宅医療・介護資源の把握

地域ごとに、在宅医療に取り組む病院、診療所、歯科診療所、薬局、訪問看護ステーション、介護施設などの情報を収集し、関係者間の連携・調整に活用します。

●多職種連携の推進(多職種連携会議の開催、医療・介護関係者への研修)

地域の医療・介護関係者の連携を推進するため、お互いの業務の現状を知り、顔が見える関係づくりを目的とした、多職種連携会議を開催します。また、医療・介護等の専門職を対象とした、在宅医療・介護に関する研修会を開催します。

●地域住民への普及啓発

市民を対象に、在宅医療・介護への理解を深めることを目的とした講演会などを開催します。

●退院調整への支援

退院調整は医療機関が実施することが前提ですが、諸事情により十分な退院調整を行うことができない場合等、退院後の円滑な地域移行に支障がある場合は、当該医療機関(地域連携室等)からの要請に応じて、医療機関が実施する退院調整への支援を行います。



☎このような相談を受けています。

【耳鼻科往診医について】
80歳代、要介護、独居の方
副鼻腔炎と思われる症状が持続(鼻水、頭痛、右耳痛)。
訪問診療をされている医師から、耳鼻科往診医を依頼された。

↓

【対応】▶サポートセンター資源情報から灘区内の対応可能な耳鼻咽喉科の情報提供を行いました。

【訪問歯科衛生士について】
【訪問栄養指導について】

↓

【対応】▶利用方法や問い合わせ窓口について情報提供を行いました。

お気軽にお問い合わせください。

訪問口腔ケアについて

在宅において寝たきり状態で歯科医院に通院困難な方を対象に、歯科衛生士が訪問して継続的な口腔ケア、口腔機能管理を行う事業です。

※対象となるのは在宅で寝たきり状態にあり、歯科医院通院が困難な方で、要介護認定を受けておられる方。

※医療保険および、介護保険の一部負担金が必要です。

申込用紙に必要事項を記入し、FAXで申し込み → 担当歯科医師と歯科衛生士が訪問して、お口の中の状態を確認 → 訪問計画に基づき歯科衛生士による継続的な訪問口腔ケア開始

【お問い合わせ・お申し込み先】
神戸市歯科医師会歯科保健推進室 TEL：078-391-8020
神戸市保健福祉局・公益社団法人神戸市歯科医師会 FAX：078-391-6480

訪問栄養食事指導について

訪問栄養食事指導ではこのようなことができます。

- ・ 痩せてきた方へのアドバイス
- ・ 太ってきた方へのアドバイス
- ・ ムセる方、飲み込みにくい方へのアドバイス
- ・ 総菜や外食の選び方
- ・ 退院した後の食事の作り方
- ・ 食事管理の方法

※対象となる方—①②の条件を両方満たしている方

①要介護認定を受けている方 ②治療のために特別な食事管理を必要とする方

※申し込みについて

訪問には主治医の指示書が必要となります。かかりつけ医またはケアマネジャーにご相談ください。

【お問い合わせ先】

公益社団法人 兵庫県栄養士会 栄養ケア・ステーション

TEL : 078-251-5311 FAX : 078-262-6645



このようなお悩みはありませんか？

- 食欲がなく、食事が減ってきている。
- 食べたり、飲んだりするときにむせてしまう、水分がうまくとれない。
- 最近、急にやせてきた。
- 食事の管理がうまくいかない、食べずやしい食事の注文をお願いしたい。
- 退院後の食事をどうしたらいいのかよく分からない。

お問い合わせ先
公益社団法人 兵庫県栄養士会
栄養ケア・ステーション
☎ 078-251-5311
FAX 078-262-6645
E-mail: eyou@portnet.ne.jp

カンガルーお食事プロジェクト
訪問栄養食事指導のご案内

食事や栄養のことでお悩みの時は、私たち管理栄養士・栄養士にお気軽にご相談下さい。

公益社団法人 兵庫県栄養士会
栄養ケア・ステーション
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-10-1
078-251-5311

今後の研修会予定

2022年度 灘区 医療・介護関係者の研修会

(1)2022 年度第6回灘区医療・介護関係者の研修会

「知ってるようで知らないかも！？ 様々な疾患を持つ高齢者の療養の場」(仮題)

【日時】2023(令和5)年2月ごろ 【参加費】無料

【場所・定員】ZOOM オンライン開催

【講師】未定

【申込方法】決まりましたら神戸市医療介護サポートセンターのホームページに案内を掲載いたします。



(2)2022 年度第7回灘区医療・介護関係者の研修会

「在宅療養をされている方への医療・介護の連携を学ぶ」

～各科の在宅診療を知る～Part4 (皮膚科・眼科)

【日時】2023(令和5)年2月または3月 【参加費】無料

【場所・定員】ZOOM オンライン開催

【講師】未定

【申込方法】決まりましたら神戸市医療介護サポートセンターのホームページに案内を掲載いたします。



医療介護サポートセンター ホームページのご案内

医療介護サポートセンターのホームページでは、各区サポートセンターの紹介やお知らせ、市民講座、研修案内、活動報告などご覧いただくことができます。ぜひ、ご活用ください。

URL:<https://kobe-iks.net>



灘区医療介護サポートセンターのページ

URL:<https://kobe-iks.net/area/nada>

QR コードはこちら



【編集後記】新しい年が始まりました！正月気分も抜け、日々の業務に向かわれていることと思います。本年もよろしくお願いいたします。

昨年の後半は、公私ともに気の抜けない出来事が重なり、さすがに「しんどいなあ・・・」と折れそうになることがありましたが、いつもの何気ない会話や周囲の温かい言葉に気持ちが救われました(感謝)。この歳になっても様々な経験を経て得ることが多くあるのだと、あらためて感じている今日この頃です。まだまだこれから寒い日が続きますが、皆さま、お身体にはくれぐれもご自愛ください。

